The Expressive



---- 「門真っ子」学習風景 ----

TEN 图念開聯OIN發支資格項目

The Expressive



皆様へ

NPO の活動へのご協力ありがとうございます。活動を始めたところですが、NPO として会報を発行することにしました。会報の名前はThe Expressive としました。様々なことを様々な形で表現していこうと考えて名前を付けました。もちろん会員の皆様の投稿も願っております。またインターネットのホームページにおいても同様の活動を計画しております。また後日ご案内申し上げます。

2005/8/6

事務局

在ることの豊かさ

青木 重敏

はじめに

○ global standard: 一国家、一地方に独特の考え方や伝統的価値観からものを見るのでなく、 全世界的な視野での判断基準を取り入れて行く必要があると言う価値観からでてくる基 準的なもの。

【Ⅰ】「違い・異なり」は「負」価値、「みんな同じ」は「正」のメッセージか

- ※1 Together We make difference
- ※2 Japanese only
- - 4 共通項より差異の強調

【Ⅱ】多文化共生、ノーマライゼーションは、グローバルスタンダードたりうるか

(1) 大阪における「業界」での「共生」のとらえかたの概括 もともと、共生という言葉は生物学の用語で「異種の生物の共存様式」のことをいい、自然科 学の分野で用いられていた。

しかし、業界では一般に「人間社会の中でお互い違いを認め合って生きていくこと」といわれているが、これでは十分な説明にならない。

一つの考え方として、共生概念を以下の4つの視点から捉えられるとされる。

① エコロジーの領域から語られる共生

基本的な考え方は、「あらゆる生物は、その生の可能性を十全に生きる権利があり、どんな種であれ他の種の領域を侵害する権利はない。」と言う思想を出発点として、他の生物種に対して、人間の特権的な位置を認めないということである。人間が自分たちにとって価値があるかないかだけで他の種の存在価値を決めることに批判的なディープ・エコロジーの立場はその典型である。これには、大資本の横暴、開発という名のもとでの資源の集約的な搾取、経済的な収奪、自然破壊に対する批判的視点が含まれる。

② 障害者解放運動、ノーマライゼーションから生まれたもの

地域社会で、地元の学校で、「共に生きる」事を目指し、養護学校や障害児学級などは隔離・分離するものとして批判的に見ることが背景にある。この場合の共生概念には、バリアフリーにすると言うハード面の条件整備だけでなく身体的能力の差によって人間を価値付けない思想と実践が志向され、能力主義的発想や健常者の価値観へのラディカルな問いが含まれる。

③ 文化的多元主義や多文化主義の領域で語られる共生概念

同化思想との対決によって形成されてきたもの。植民地支配や奴隷制度など歴史の負の遺産を抱えてきたマイノリティだけでなく、一見自発的な意志によって国境を越えてきた人々、外国人労働者、ニューカマーが増加してきたことを背景にエスニック・マイノリティが、独自の

価値観、ライフスタイルを保持する権利を主張する運動の中で形成されてきた概念。

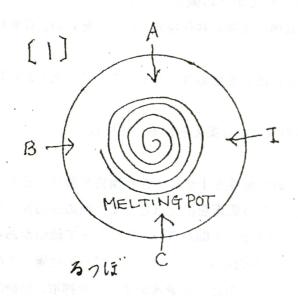
多文化主義は、単にどの文化もすばらしい、かけがえの無いものだと言う口当たりの良いメッセージではなく、マイノリティ、マジョリティと言う関係において力の差があると言う現実から目をそらさないで、社会的資源や機会における不平等の是正を目指しつつ同化主義に陥らないで、文化的な差異を保持しつづける運動の中で形成されてきたもの。

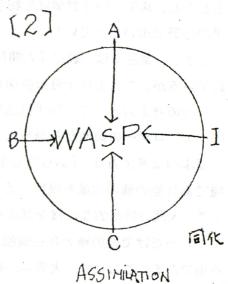
④ 男女共生というフェミニズムの中で語られてきたもの。

詳細は省略

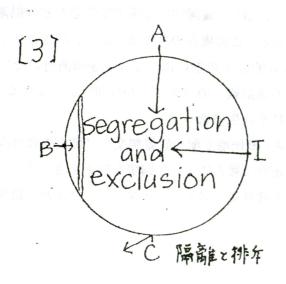
1980 年代から語られ始めた共生概念には、前述の 4 視点があり、それぞれから刺激を受けてその領域も広がってきている。ホモセクシュアル、ハンセン病患者、HIV、など。

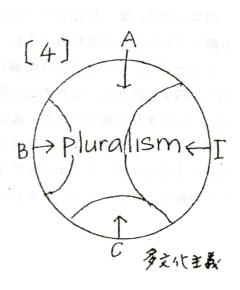
(2) アメリカにおける人種間のつながり方の変遷からみた共生





ASSIMILATION (Anglo Conformity)





【Ⅲ】 大阪で用いられている「業界用語」が語りかけるもの

[キーワード]

【個々の取り組み】

{システムとして<mark>の異体化</mark>}

エンパワメント

在日コリアン教育

チャータースクール

自己実現

民族教育

マグネットスクール

(L・ハイスクール)

自己決定・自己選択

人権教育(国連10年)

アフタースクール (ふれあい)

セルフエステーム

多文化共生教育

アファーマティヴアクション

(つながる為の)

アファーマディップクション

come out (from closet)

参加型学習

総合学習(カリキュラム選択)

自分探し

国際理解教育

生涯学習

自学自習

共に生きる

特別支援教育

プレゼンテーション

多様性教育

special structural reform

(特区) zone

(特別枠入試)

多様性

個性教育

習熟度別

インクルージョン

ジェンダー

モニトリアル・スクール

(助教制度)

開かれた学校(学校評議員)

機会の平等

NPO

情報化

中高一環

「入り込み」

アイデンティティ

【IV】資料

※ 1 カリフォルニア、バークレー高校の「校訓」

※ 2「Japanese only」 有道 出人 著書(アルドウィンクル・デヴィット) 小樽温泉入浴拒否問題と人種差別 「外国人の方の入場をお断りいたします。」

○ 東大は、「日本人の、日本人による、日本人のための大学」だ。 東大は、教授、助教授、講師合わせて約 2800 人いるうち外国人は 52 人、日本人 の占める割合は 98%に達する。

中国ですら清華大学は、当大学出身者が3分の一、国内出身者が3分の一、外国人 教員が3分の一を内規にしている。

※ 3日本のクレヨン・クレパス等絵の具の「肌色」標示をめぐって

「問題のあるグローバル・スタンダード」「JAPAN TIMES」1999年11月1日付

多摩大学 学長 グレゴリー・クラーク

{コメント要旨}

最近、日本人は「グローバル・スタンダード」という言葉にとり憑かれている。

この醜いカタカナ和製英語によって、優れた先進国から、日本が劣った国、遅れた国として軽蔑され、まるで我々欧米人の社会が培ってきたイメージにそぐわなかったため、日本の改革が失敗したかのように思われている。

実は、日本社会は、「欠点」とされるものを相殺して余りある「長所」を備えている。

長年かけて築いてきた日本人の価値観は、社会的な欠点があるにもかかわらず、我々外国人が来日して楽しむことのできる、安定した進歩的な社会を作ったのだ。言い換えれば、日本が「グローバル・スタンダード」を模倣するよりも我々外国人こそジャパニーズ・スタンダードを採用すべきだ。特に、互いに公正かつ丁寧に接し合う、ということは採用されるべきだろう。

ここで悲しいストーリーを取り上げよう。

浜松市の宝石店のことだ。最近経営者が人種差別を行ったとして罰金を科された事件が、 このジャパニーズ・スタンダードと関連する。

日本は、集団による盗難が非常に少ない国であるのは確かだ。その結果の一つとして宝石に対して、他国のように何重にも警戒する必要性は強く感じられない雰囲気になった。

しかし、その半面、細心の警戒が欠けている事をいいことに、日本は中国人やヴィエトナム人、アラブ人、ラテンアメリカ人などの窃盗団のパラダイスになってしまった。

これまで 100 件以上の宝石店が被害にあっている。言うまでも無く、日本の宝石店は自 衛策に苦慮した。外国人のように見える客を一律入店拒否するのが最善策だと判断するの は、最もと言えるだろう・・・・。

裁判官は、この国連条約 (人種差別撤廃条約) が「グローバル・スタンダードの最たる ものと判断し、従ったに違いない。

国内マスコミも判決を支持した。

しかし、この結果発生するだろう逆効果に思い至る評論家は数少ない。今後は、宝石店のみならず、サーヴィス業全般で、他のグローバル・スタンダードを採用しなければならない、ということになるのだ。つまり、「お客さんはしんようできない」。

経営者は、今後入店する人を細めた目で品定めをし、犯罪予防上 銃と警備員、防犯カメラで歓迎するだろう。

無論外国人に対する差別は不愉快である。日本では、外国人であることを理由に家を借 りるのも拒絶されることまである。

でも、どちらかといえば、外国人拒否は当人が日本のルールと習慣を守らないことが原 因だ。したがって、ホスト国の文化を尊重しない外国人こそが差別行為を行っていると言 えるであろう。

This is an excerpt from The Yomiuri Shimbun's third installment in a series of articles in the "Planning National Strate-gies" series that considers technology,

The papers were supposed to be filled in the German student who did not speak panese. However, all the documents

the university's secre-section of the papers

considered defects in the documents. "The papers were prepared to enable the studen to receive a scholarship and pay bills for his don't want to disgrace my university

institutes il to survive

which published a ranking of universities worldwide in November, Harvard Univer hile the University of California, Berke-y, came second and the Massachusetts In-titute of Technology came third. Tokyo niversity was ranked 12th. Tokyo University President Hiroshi

Tokyo University President Hirosh Komiyama asked the university's profes

place run by Japanese and for Japanese, and for Japanese, and for Japanese, and for Japanese, "Takeuchi said."
Under Komiyama's leadership, Tuniversity established an internation ordination headquarters in April, he

students and researchers from abroad. The university is preparing pamphlets in Chi-

universities in China, has an internal rule that stipulates, "One-third of the teaching staff are Tsinghua University graduates, one-third are from other universities with

each field of study

At most universities, each field of study usually is the sphere of a professor, an assistant professor and one or two assistants—the smallest unit in terms of educa-

colleges and utilves of each professor ifies the responsibility of each professor study to new researchers and further hone

sors at universities have increased greatly. But due to criticism that universities were unable to deal with more diverse fields, the Education, Science and Technology Min-Education, Science and Teclestry changed the system in eir academic expertise. Under this system, the powers of profes-rs at universities have increased greatly

then more flexibility in personnel.
But four years later, the old system lingers at many universities, especially medical and dental institutions.
"In the United States, if a university faculty member failed to explain his or her achievements, he or she won't receive another grant or will be told to leave," said Tsugio Makimoto, a former Sony Corp. advisor.
"In Japan, once you become a professor,"

05. 7月25月.

Germans quit Berlin school, sparking migrant debate 移民の融合がうまくいかず、ドイツ人の子供が1人もいない学校も

BERLIN (Reuters)-Turkish, Arabic and Vietnamese fill the air in the playground outside the Eberhard Klein school in Berlin's Kreuzberg district, where German is a for-

eign language. The last four German pupils left the secondary school in the district filled with immigrants just south of the government quarter, giving it the distinction of being the only state school in the country without any German children.

Reflecting Germany's at-times awkward relationship with its large immigrant communities, the absence of any Germans in the now-famous school has become a thorny political issue ahead of an election expected in September.

*distinction:区別、特徵 *awkward:気まずい *thorny:難しい

While Chancellor Gerhard Schroeder's center-left government is proud of how it says it has modernized immigration laws, conservatives criticize the lack of integration and spread of "ghettos" in large cities

such as Berlin, Cologne and Hamburg. "You can live around here and never have to utter a word of German—there are Turkish shops, Turkish lawyers and Turkish doctors," said Bernd Boettig, principal of the Eberhard Klein school in the down-market Kreuzberg district.

Boettig said he tries to dissuade German parents who want to register their children at his school and said the last four German children left in 2004.

Studies show that German-language skills

*integration:融合

*utter:話す *dissuade: 説得してやめさせる

decline once the percentage of those who do not have a command of the language rises above 20 percent in the classroom, Boettig explained.

He says integration has not worked. "For a long time people figured migrant workers and their children would eventually mix with Germans," he said. "But let's face it, integration has failed. We could have steered it 20 or 25 years ago but now I really

don't know what can be done." The language of Goethe and Schiller is rarely heard outside his classrooms. About 80 percent of the pupils are from Turkish families. The remaining 20 percent come from Arab-speaking countries, former Yugoslavia, Vietnam or Africa.

*command:自由に使える能力 *Let's face it: 現実を認めよう *steer:対処する、管理する